

1 単元 すみれと あり

2 指導計画(13 時間完了)

- (1) 学習の見通しをもつ・・・1 時間
- (2) 全文を通読し、感想を交流する・・・1 時間
- (3) 内容を把握する・・・8 時間 (本時 3/8)
- (4) すみれとありのつながりを説明する・・・2 時間
- (5) 振り返る・・・1 時間

3 本時の指導

(1) 目標

主語と述語に気を付け、ありがすみれの種を運ぶことについて、説明する文章を書くことができるようにする。

(2) 情報活用能力の育成について

説明しやすい文章の順序(シーケンス)を考えることができるようにする。

(3) 準備

教師：拡大写真、短冊、仲間分けシート(Yチャート)、付箋紙、並び替えシート

(4) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
5分	1 本時の学習活動を把握する。	○ ありの拡大写真を提示して、前時までの内容を振り返りながら、前時と同様に文章の順序を考えることを伝える。
	ありがすみれの種を運ぶまでの文章を、順序を考えて書こう。	
12分	2 述語を仲間分けする。	○ 本文に書かれている述語を付箋紙に書き写し、仲間分けシート(Yチャート)に分けることを伝える。
13分	3 順序を考える。	○ 仲間分けシートでまとめた付箋紙をもとに、並び替えシートに移動するよう指示をする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価事項</p> <p>説明しやすい文章の順序(シーケンス)を考えることができるようにする。</p> <p style="text-align: right;">【ワークシート・発言】</p> <p><input type="checkbox"/>…違う述語が書かれた付箋紙と交換して児童自身がありの立場になって動き、演技をして確認してもよいとする。</p> <p>☆…考えた文章の順序を基に、友達に説明するときに必要な接続語も考えることを伝える。</p> </div>		
5分	4 全体で共有する。	○ 3・4人の小グループを作り、個人で分類した付箋紙を使ってまとめることを伝える。 ○ 児童が発表した内容を短冊カードに書き、共有を促す。 ○ 短冊の順序がふさわしいかを確認するため、「あり」の役柄に教師がなりきり、命令通りの動きをすることで確かめるように伝える。 ○ 確かめたもの間違いに気づいた場合、子どもに短冊を並び替えることを伝え、順序を完成できるように声を掛ける。
10分	5 本時のまとめをする。	○ 黒板に掲示された短冊をもとに、ノートに説明文を書くことを伝える。 ○ 振り返りをもとに、次時の課題を考えるように伝える。

※ 斜体…情報活用能力を育成する学習活動